

一 大規模地震発生時の通電火災を防止し、事業継続への取り組みを強化 一

2026年2月13日

東急プロパティマネジメント株式会社

弊社は、従業員およびその家族の安全確保を目的として、家庭用の「感震ブレーカー（通電火災防止装置）」を全従業員へ配布することを決定しました。

大規模地震発生後、停電復旧時に発生する「通電火災」は、建物被害を拡大させる重大な二次災害として指摘されております。強い揺れを感知すると自動的に電気を遮断する感震ブレーカーはリスク低減に効果的とされ、各行政からも設置推奨が寄せられている一方で普及が進んでいないとの報道もございます。

弊社ではこれまでも、災害時における事業継続（BC）を重要な経営課題のひとつとして位置づけ、設備・体制整備や防災教育に取り組んできました。

今回の感震ブレーカー配布は、その一環として、従業員と家族の安全確保をより強化するものです。

弊社は、今後も不動産の運営管理を担う事業者として社会から求められる責任を果たすべく、従業員の安全と事業の継続性を両立した企業運営を推進してまいります。

参考：感震ブレーカー概要（弊社導入タイプ）



地震が起こったとき

- 冷静な気持ちで、すべての電気を消して回れますか？
- 高い位置にあるブレーカーを落とす余裕がありますか？

スイッチ断ボールⅢは

- 自動的にブレーカーを遮断させる通電火災防止装置
- 震度5、6、7の三段階にセット可能

（製造販売元：株式会社エヌ・アイ・ピー様ホームページより）